

● 事業名

地域と大学を繋ぐコーディネーターのための 研究実践セミナー

- 主催 和歌山大学
- 後援 NPO法人地域連携活動支援フォーラム

● 概要

2021年11月6日・7日、12月4日、2022年1月8日・22日と5日にわたり「第10回地域と大学を繋ぐコーディネーターのための研究実践セミナー」を開催した。本セミナーは、全国の大学における地域連携コーディネーターや地域連携担当教職員が一堂に集い、地域と大学を繋ぐ上での課題や解決方法の共有、コーディネーターの仕事の意義や役割、今後の展望について合宿型で語り合うセミナーである。本年度は昨年度に続き、新型コロナウイルスの影響でオンラインでの開催となった。本年度はセミナー10周年を記念し「地域連携コーディネーターの10年再考」と題し、4回シリーズで企画。2021年度は4回シリーズのうち3回を実施し、2022年度に4回目を開催予定である。セミナーには、北は北海道から南は宮崎県まで、本学を含めて延べ64大学・機関、72人が参加した。

● 実施内容

開催日	テーマ	対象者	話題提供者等	参加者数
第1回 2021年 11月6日・ 7日	未来のコーディネーターをつくる	地域連携経験おおむね5年以上の国公私立大学地域連携担当コーディネーター及び担当教職員	和歌山大学 紀伊半島価値共創基幹准教授 西川 一弘	15機関 16人
第2回 2021年 12月4日	地域連携コーディネーター・10年再考	国公私立大学の地域連携担当コーディネーター及び担当教職員（職歴不問）	文部科学省 科学技術・学術政策局 産業連携・地域振興課長 井上 睦子 氏 文部科学省 総合教育政策局 地域学習推進課 課長補佐 小松屋 英 氏 文部科学省 高等教育局 高等教育企画課 高等教育政策室 課長補佐 高橋 浩太郎 氏 学校法人明浄学院（大阪観光大学）顧問（経営・学事） ／和歌山大学顧問 山本 健慈 氏 和歌山大学 紀伊半島価値共創基幹准教授 西川 一弘	27機関 34人
第3回 2022年 1月8日・ 22日	コーディネーターのミドル世代を育成する	地域連携経験おおむね3～5年の国公私立大学地域連携担当コーディネーター及び担当教職員	高知大学 次世代地域創造センター副センター長／准教授 吉用 武史 氏 愛知淑徳大学 コミュニティ・コラボレーションセンター講師 沖 直子 氏 高崎商科大学・高崎商科大学短期大学 キャリアサポート室川又 彩夏 氏	19機関 22人

第1回は地域連携経験がおおむね5年以上のベテランが集まり、「未来のコーディネーターをつくる」をテーマに、次世代の地域連携コーディネーターを育成するための研修プログラム構築を行った。URAのスキル基準をベースに、これまでの経験知からコーディネーターに必要なスキルを導き出し、当該スキルの研修可能性、研修方法のアイデアについて2日にわたって議論した。



オンラインでの全体発表の様子 (2021年11月7日)



11月7日セミナー参加者たち

第2回は「地域連携コーディネーター・10年再考」をテーマに、文部科学省から科学技術・学術政策局産業連携・地域振興課長の井上睦子氏、総合教育政策局地域学習推進課課長補佐の小松屋英氏、高等教育局高等教育企画課高等教育政策室課長補佐の高橋浩太郎氏を招き、基調提起をいただいた。文部科学省科学技術・学術政策局、総合教育政策局、高等教育局の三局が所管する大学関連施策と地域連携コーディネーターに関わる論点についての話のあと、ブレイクアウトセッションで参加者と登壇者で意見交換した。

第3回は地域連携経験がおおむね3～5年の経験をもつ「ミドル世代」のコーディネーターを対象に、自らのコーディネーター力を振り返るとともに、今後のキャリア形成について考える機会を作った。1日目はオリジナルのコーディネーター力自己採点評価シートを作成し、そのシートをもとにグループワークで他のコーディネーターとの対話を通じて自己評価を行った。2日目にはミドル世代が直面する異動や任期によるキャリアステップを考える機会とし、高知大学次世代地域創造センター副センター長で准教授の吉用武史氏、愛知淑徳大学コミュニティ・コラボレーションセンター講師の沖直子氏、高崎商科大学・高崎商科大学短期大学 キャリアサポート室の川又彩夏氏を招き、さまざまなキャリア形成について報告いただいた。



2021年12月4日の第2回セミナーの様子



高崎商科大学の川又さんを招いて配信した第3回セミナーの様子

